

変更届の場合

該当する環境管理事務所名又は市名を記載してください
(管轄はパンフレットを参照してください)

様式第1(第4条関係)

該当するもの以外は二重線で消してください

変更届出の場合は、変更のある部分について、別紙に**変更前**及び**変更後**の内容を対照させて記載してください

特定施設設置(使用、変更)届出書

提出日を記載してください

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先)

埼玉県〇〇〇環境管理事務所長

届出者 〒330-9301

氏名又は名称、住所を記載してください
(※法人の場合は、本社の名称、住所、代表者の氏名)

さいたま市浦和区高砂3-15-1

〇〇工業株式会社

代表取締役社長 埼玉次郎

(電話番号 048-824-2111)

該当するもの以外は二重線で消してください

ダイオキシン類対策特別措置法第12条第1項(第13条第1項又は第2項、第14条第1項)の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇工業(株) ◇◇工場	施設を設置する工場名、支店名、ビル名等を記載してください	
工場又は事業場の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 ◇◇市〇〇1-2-3	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	5. 廃棄物焼却炉	※施設番号	
△特定施設の構造	大気基準適用施設にあつては別紙1、水質基準対象施設にあつては別紙4のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	大気基準適用施設にあつては別紙2、水質基準対象施設にあつては別紙5のとおり。	※備	施設の号番号(ダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第1)及び種類を記載してください (※パンフレット参照) 例 2. 製鋼の用に供する電気炉 3. アルミニウム合金製造の用に供する溶解炉 5. 廃棄物焼却炉
△発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理の方法	大気基準適用施設にあつては別紙3、水質基準対象施設にあつては別紙6のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類欄には、大気基準適用施設にあつてはダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第1、水質基準対象施設にあつては同令別表第2に掲げる号番号及び名称を記載すること。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設(大気基準適用施設)の構造

同じ号番号の施設の場合、同時に複数の施設を届け出ることができます

工場又は事業場における施設番号	1号	
特定施設号番号及び名称	5. 廃棄物焼却炉	
型式	バッチ式固定床炉 R B X型	
施設の設置場所	別紙のとおり	
設置年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
規模	原料の処理能力 (t/h)	—
	変圧器の定格容量 (KVA)	—
	炉の容量 (t)	—
	焼却能力 (kg/h)	2000
	火床面積 (m ²)	10.56
その他参考となるべき事項		

設置届出 → 工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日
 使用届出 → 設置年月日
 変更届出 → 設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始年月日をそれぞれ記載してください

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、令別表第1に掲げる施設に係る項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

変更のある部分について、**変更前**及び**変更後**の内容を対照させてください

特定施設(大気基準適用施設)の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		(変更前) 廃棄物焼却炉 1号	(変更後) 廃棄物焼却炉 1号
使用状況	1日当たりの使用時間及び月使用日数等	8時～ 17時 25日/月	8時～ 17時 25日/月
	季節変動	なし	なし
原料及び燃料 (ダイオキシン類の発生に影響のあるものに限る。)	種類	木くず・紙くず・繊維くず	木くず・紙くず・繊維くず
	使用割合	55%・35%・10%	55%・35%・10%
	原料又は燃料中の塩素分の成分割合(%)	0.1	0.1
	1日の使用量	16,000 kg/日	16,000 kg/日
排出ガス量(m ³ /h)	最大 湿り 31238 通常 湿り 29248 乾き 21697 乾き 20134	最大 湿り 31238 通常 湿り 29248 乾き 21697 乾き 20134	
排出ガス温度(°C)	75	90	
排出ガス中の酸素濃度(%)	12.9	12.9	
排出ガス中のダイオキシン類の濃度(ng-TEQ/m ³)	最大 0.5 通常 0.1	最大 0.1 通常 0.05	
その他参考となるべき事項	バグフィルター	セラミックスバグフィルター バグフィルター	

乾きガス中の濃度を記載してください

- 備考 1 廃棄物焼却炉にあつては、種類の欄には、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くずその他の廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。
- 2 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態(以下「標準状態」という。)における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
- 3 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載のこと。

変更のある部分について、**変更前**及び**変更後**の内容を対照させてください

発生ガスの処理の方法

工場又は事業場における施設番号	(変更前) 廃棄物焼却炉 1 号	(変更後) 廃棄物焼却炉 1 号
名称及び型式	バグフィルター集塵機	セラミックスバグフィルター集塵機 バグフィルター集塵機
発生ガスの処理の内容	ろ過集じん	ろ過集じん
処理の系統	別紙参照	別紙参照
施設の設置場所	〃	〃
設置年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日	年 月 日	和〇〇年〇〇月〇〇日
その他参考となるべき事項	設置届出 → 工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日 使用届出 → 設置年月日 変更届出 → 設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始年月日をそれぞれ記載してください	

備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

<記入例>

別紙（ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第4条第2項関係）

ダイオキシン類発生抑制のための構造上の配慮並びに運転管理に関する事項	
<p>○構造上の配慮</p> <p>（ダイオキシン類の発生を抑制するための処理施設の設置など施設の構造に関することを記載してください）</p> <p>（廃棄物焼却炉の例） 届出に係る施設は、次の構造を有するものである。</p> <ol style="list-style-type: none">1 燃焼室が外気と遮断された状態で（廃棄物を定量、連続的に供給できる装置）がある。2 燃焼ガス温度800℃以上（状態で燃焼でき、2秒以上の滞留）を保てる。3 燃焼室への必要量の空気を安定して供給できる。4 助燃バーナーを有している。5 燃焼ガス温度を連続して測定（及び記録）できる。6 集じん機を有している。（ ）7 集じん機流入ガスを200℃以下に冷却できる。8 集じん機流入ガス温度を連続測定し、連続記録できる。9 排出ガス中のCO濃度を連続測定し、貯留する。10 ばいじんを焼却灰と分離し排出し、貯留する。11 ばいじん又は焼却灰が飛散、流出しない灰出し設備を有する。12 その他（ ）	<p>○運転管理に関する事項</p> <p>（ダイオキシン類の発生を抑制するための特定施設や処理施設の運転又は工程の管理の方法などを記載してください）</p> <p>（廃棄物焼却炉の例） 左記の構造による効果を発揮できる運転を行うほか、次のとおり運転する。</p> <ol style="list-style-type: none">1 投入廃棄物の均一化を図る。2 焼却灰の熱灼減量を10%以下にする。3 冷房設備、発生ガス処理施設に堆積したばいじんを除去・清掃する。4 排出ガス中CO濃度を100ppm以下にする。5 その他（ ）
緊急連絡用電話番号	（ ）
緊急時の連絡方法	
（緊急時、事故時の連絡用電話番号、現場責任者等の連絡先などを記載してください）	
大気基準適用施設の場合 排出ガス測定箇所	
（排出ガスの測定口などの設置位置を記載してください 複雑な場合、記載しきれない場合には、図面などを用いてください）	
水質基準適用事業場の場合 用水及び排水の系統	
（事業場内の用水及び排水のフローを記載してください 複雑な場合、記載しきれない場合には、図面などを用いてください）	

※記載しきれない場合は、別紙に記載すること